

令和7年9月22日（月曜日）

姫島村立姫島中学校 三田 真梨子先生の授業です。

授業の単元は、第1学年「1次方程式」。前時で学習した1次方程式を効率よく解く方法である移項の考え方をを使って、1次方程式を解く手順について考える場面です。

導入では、簡単な1次方程式を例に示し、前時で学習した移項の考え方をうい、解く手順について確認しました。その際、移項をすることにより、項の符号が変わる様子を生徒が視覚的に捉えることができるよう教具を準備するなど、前時の学習内容の振り返りがスムーズに行われるような工夫がなされていました。

また、グループで考え方を説明し合う際、活動の質を高めるために、一人一人の生徒が自分の考えをもてるよう個で考える時間を十分に確保し、ノートに記述をさせるなど書く活動の充実に向けた取組が見られました。

数学に苦手意識を感じている生徒に対しては、机間指導の際に個別指導を行い、生徒が自力解決を図ることができるよう支援を続けていました。生徒同士で教え合う場面も見られ、互いの考えを尊重し合う姿から、学級内に共感的人間関係が築かれている様子も感じられました。

事後研では、授業の際に本時のまとめにつながる気付きを自主的にノートに記述している生徒もいたことから、机間指導の際に、生徒の学習状況の把握に努め、生徒の言葉でまとめにつなげることで生徒の主体性を育むことができること、振り返りの質を向上させるための手立て等について確認しました。三田先生は、生徒とのやり取りを大切にするという思いを強くもっているようですので、今後も、生徒が主体的に学べる授業づくりに努めてほしいと思います。

